

令和元年度  
学校評価(中間)

このアンケートは、令和元年度松波中学校学校評価目標におけるめざす姿をもとに、評価項目を設けた。

それぞれの質問について、個人としての評価ではなく、学校全体の取組としての評価を行った。また、生徒アンケート・保護者アンケートの結果についても参考とした。

なお、評価は、A(4+3:90%以上)、B(4+3:70%以上)、C(4+3:70%未満)とした。

令和元年10月  
能登町立松波中学校

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価目標

本校の教育目標	自己教育力に富み、社会性・人間性豊かな生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～			
めざす姿	1. 生徒像	2. 教師像	3. 学校像	キーワード
	(1) 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む生徒	(1) 危機管理意識が高い教師	(1) 安心・安全な学校	(1) 「命」を大切にする
	(2) 疑問を持ち、考え抜く生徒	(2) 確かな指導力をもった教師	(2) 協働意識が高い学校	(2) 「学び」を自覚する
	(3) 多様な人々とともに、目標に向けて協力する生徒	(3) 豊かな人間性をもった教師	(3) 笑顔あふれる学校	(3) 「目標」を設定する

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<b>【子どもたちが安全・安心に学べる学校】</b> ① 学校教育活動全体を通して、子どもたちに自らの安全確保に必要な力を育成する。 ② 生徒の変化を敏感に把握し、いじめ等を見逃さない。 ③ 教職員の危機管理意識を高め、効果的に働く仕組みを絶えず見直す。	◆ 行事や体験活動等の実施の際に、安全確保について生徒同士が話し合う機会を設定する。 ◆ 毎朝、対面で声かけを行い、個々の生徒の様子を把握する。 ◆ 適時的に訓練を実施し、危機管理マニュアルの理解と改善を行う。	[教職員アンケート] 1, 2, 3, 11, 12 [生徒アンケート] 1, 2, 3, 12 [保護者アンケート] 1, 2, 3, 4, 5
<b>【生徒の確かな学びを保障する学校】</b> ① 主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進する。 ② 学力調査等の結果を活用した、個に応じたきめ細やかな学習指導を行う。 ③ 体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。	◆ 生徒の様子、変容を視点とした、研究授業を実施する。 ◆ 個々の生徒の苦手分野を把握し、その対策と取り組みを実施する。 ◆ 体験活動等の計画に、教科との関連を明記する。	[教職員アンケート] 4, 5, 6, 10 [生徒アンケート] 4, 5, 6, 7, 8 [保護者アンケート] 6, 7, 8, 9, 10
<b>【教師の研修意欲が高い学校】</b> ① ワークライフバランスを向上させ、子どもと向き合う時間の確保に努める。 ② 人権感覚を高め、指導力を高める研修を推進する。 ③ 日常的に共通理解やコミュニケーションを図る職場づくりを進める。	◆ 働き方改革を推進し、遅くとも午後8時までに退校する。 ◆ 授業中、生徒を指名する時は姓に敬称をつける。(呼び捨てにしない) ◆ 報告・協議事項は事前に紙またはサーバー内で文書化し周知する。	[教職員アンケート] 7, 8, 9 [生徒アンケート] 8, 9, 10, 11 [保護者アンケート] 4, 5, 6
<b>【地域社会の一員として信頼される学校】</b> ① 学校公開や日々の教育活動についての情報発信を積極的に進める。 ② 学校評価は焦点化した評価項目に絞り、改善の方向や方策を提示し公開する。 ③ 地域人材や施設を積極的に活用し、社会に開かれた教育課程の構築を進める。	◆ 月2回以上、学校HPを更新する。 ◆ 学校評価結果を学校HPで公開する。 ◆ 各学年2回以上、地域人材を活用した授業を実施する。	[教職員アンケート] 13, 14 [生徒アンケート] 13, 14, 15 [保護者アンケート] 11, 12

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【子どもたちが安心・安全に学べる学校】</p> <p>①学校教育活動全体を通して、子どもたちに自らの安全確保に必要な力を育成する。</p> <p>②生徒の変化を敏感に把握し、いじめ等を見逃さない。</p> <p>③教職員の危機管理意識を高め、効果的に働く仕組みを絶えず見直す。</p>	<p>◆行事や体験活動等の実施の際に、安全確保について生徒同士が話し合う機会を設定する。</p> <p>◆毎朝、対面で声かけを行い、個々の生徒の様子を把握する。</p> <p>◆訓練実施後、危機管理マニュアルと比較し成果と課題を明確にする。</p>	<p>[教職員アンケート] 1, 2, 3, 11, 12</p> <p>[生徒アンケート] 1, 2, 3, 12</p> <p>[保護者アンケート] 1, 2, 3, 4, 5</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
1. 目指す姿を達成するための教育活動を実践している。	A 100%	1. 学校が楽しいと思う。	A 93.1%	1. 学校へ行くのが楽しそう。	A 91.5%
2. 生徒の小さな変化にも気付くよう意識している。	A 100%	2. 困っている友達がいたら声をかけたり助けたりしている。	A 91.4%	2. 学校は生徒の安全を守るために努力している。	B 89.8%
3. 教育活動全般を通して安全について意識させている。	A 100%	3. 安全を意識した行動を心掛けている。	A 93.1%	3. 学校はいじめや問題行動の未然防止や早期発見に努めている。	B 84.7%
11. 各種アンケートをもとに、人間関係作りに取り組んでいる。	A 100%	12. 5定点を守るよう心掛けて生活している。	B 83%	4. 学校は何事に対しても早めに対応している。	B 88.1%
12. 生徒は自分の健康や安全に気を付けて行動している。	A 100%			5. 教職員は、子供の気持ちや内面を理解しようとしている。	B 88.1%

◎教職員は、学校教育活動全体を通して、安全に対する指導・育成を行っている。また、生徒一人一人の小さな変化に気づくよう取り組んでいる。

◎生徒は、学校が楽しいと感じている。また、仲間に気を配るとともに、安全を意識した行動を心掛けている。

◎保護者は、子どもが学校へ行くのが楽しいと感じている。

◇生徒の安全意識が高まっている。今後は、より具体的に生徒同士が自らの安全について考え、話し合える活動の場面を充実させていくことで深めていきたい。

◇5定点を意識し、規則正しい生活を送り、日常の健康増進を図ることが小さなヒヤリハットの防止につながることを理解させたい。

◇保護者の中に、生徒の安全を守る努力、いじめの未然防止・早期発見に関して、若干の不満が感じられる。教職員は、保護者と連携を密にし、生徒の内面を理解する努力をしていること、いじめ・問題行動の未然防止に努めている姿を、わかりやすく示していく必要がある。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【生徒の確かな学びを保障する学校】</p> <p>①主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進する。</p> <p>②学力調査等の結果を活用した、個に応じたきめ細やかな学習指導を行う。</p> <p>③体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。</p>	<p>◆生徒の様子、変容を視点とした、研究授業を実施する。</p> <p>◆個々の生徒の苦手分野を把握し、その対策と取り組みを実施する。</p> <p>◆体験活動等の計画に、教科との関連を明記する。</p>	<p>[教職員アンケート] 4, 5, 6, 10</p> <p>[生徒アンケート] 4, 5, 6, 7, 8</p> <p>[保護者アンケート] 6, 7, 8, 9, 10</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
4. 各種学力調査の分析を授業改善に生かしている。	B 85.7%	4. 授業の内容はよくわかる。	B 89.7%	6. 本校の教職員は、授業が分かりやすいように工夫している。	B 88.1%
5. 個々の生徒の苦手分野を把握し、対策を行っている。	A 100%	5. ペア学習やグループ学習で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを参考にできる。	A 91.4%	7. 毎日家庭学習をしている。	B 83.1%
6. 体験学習・総合的な学習の時間で、教科横断的な学びを関連付けている。	B 85.7%	6. 毎日学年に応じた家庭学習を行っている。	A 94.8%	8. 毎日決まった時刻に起床・就寝している。	B 74.6%
10. 生徒は、学校生活全体を通して元気にあいさつや返事をしている。	B 77.8%	7. 失敗しても粘り強く取り組もうとしている。	B 75.9%	9. ゲーム、インターネット、ライン等の使用についてルールを決めている。	C 69.50%
		8. 先生は頑張ったことに対して、ほめたり認めたりしている。	A 91.4%	10. 家庭で勉強や進路について話をする。	B 78.00%

◎教職員は、生徒の学力向上に向け、結果の分析、課題の把握、改善方法の検討・実践と検証に努めている。

◎生徒は、おおむね授業内容はわかると回答している。ペア、グループ学習で互いの考えを参考にし、学習内容を深めることができていると感じている。また、頑張ったことに対して認めてもらっていると実感している。

◎保護者は、教職員が授業改善に取り組み、わかりやすい授業となるよう工夫していると感じている。

◇教職員は、授業規律の観点もあわせて、生徒が挨拶や返事をしっかり行うよう指導していく必要がある。

◇学習に向かう姿勢を含めて、失敗しても粘り強く取り組ませる工夫を行っていく必要がある。

◇インターネット、ゲーム等の使用時間のルールが決まっていないため、就寝・起床の時刻が定まっていない。5定点と家庭学習、授業中の集中力の重要性をつなげて、啓発していかななくてはならない。

◇1年生は、家庭で勉強や進路について話しをするとした回答は65%であった。学校生活全般を含めて、家庭で話題となる材料を提供する必要がある。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【教師の研修意欲が高い学校】</p> <p>①ワークライフバランスを向上させ、子どもと向き合う時間の確保に努める。</p> <p>②人権感覚を高め、指導力を高める研修を推進する。</p> <p>③日常的に共通理解やコミュニケーションを図る職場づくりを進める。</p>	<p>◆月3回は定時退校を行い、遅くとも午後8時までに退校する。</p> <p>◆授業中、生徒を指名する時は姓に敬称をつける。(呼び捨てにしない)</p> <p>◆伝達事項は紙またはサーバー内で文書化し、事前に周知する。</p>	<p>[教職員アンケート] 7, 8, 9</p> <p>[生徒アンケート] 8, 9, 10, 11</p> <p>[保護者アンケート] 4, 5, 6</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
7. 校内研修は指導法改善に役立っている。	A 100%	8. 先生は、頑張ったことに対して、ほめたり認めてくれる。	A 91.4%	4. 学校は、何事に対しても早めに対応している。	B 88.1%
8. 働き方改革を推進し、遅くとも午後8時までに退校している。	B 77.8%	9. 先生は、丁寧に教えてくれる。	A 98.3%	5. 教職員は、子どもたちの気持ちや内面を理解しようとしている。	B 88.1%
9. 報告・協議事項は、事前に周知されている。	A 100%	10. 自分には良いところがある。	B 76.0%	6. 本校の教職員は、授業が分かりやすいように工夫している。	B 89.8%
		11. 学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある。	A 91.4%		

◎教職員は、指導法改善、生徒理解のための校内研修を定期的に行い、高い研修意欲をもって取り組んでいる。

◎働き方改革について、業務内容を改善していこうとする意識は高まっており、行われている。

◎文章掲示、回覧、会話など、適切な方法で日常的にコミュニケーションが図られ、事前周知が浸透してきた。

◎教職員が人権意識を高め、一人一人の生徒と接することにより、先生から褒められたり、認められている、丁寧に教えてくれると回答する生徒が多かった。

◇今後も、アンケートや各種調査、個別対応等から生徒理解を深め、良好な関係を構築していくことが重要である。そのためにも、生徒一人一人と向き合う時間の確保ができるよう業務内容の見直しと改善を図っていくことが求められる。

◇1年生で、自分はよいところがあると回答する生徒が65%と低かった。達成感を味わわせ、褒められることと認められることとつないでいく必要がある。

◇生徒は、教職員に認められている、丁寧に教えてくれると感じているが、保護者は9割を下回っている。保護者に、生徒の意識が実感できるよう、生徒の姿を通して示していく必要がある。また、積極的に生徒の頑張る姿、成長した姿を情報発信していく。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

## 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【地域社会の一員として信頼される学校】</p> <p>①学校公開や日々の教育活動についての情報発信を積極的に進める。</p> <p>②学校評価は焦点化した評価項目に絞り、改善の方向や方策を提示し公開する。</p> <p>③地域人材や施設を積極的に活用し、社会に開かれた教育課程の構築を進める。</p>	<p>◆月2回以上、学校HPを更新する。</p> <p>◆学校評価結果を学校HPで公開する。</p> <p>◆各学年2回以上、地域人材を活用した授業を実施する。</p>	<p>[教職員アンケート] 13, 14</p> <p>[生徒アンケート] 13, 14, 15</p> <p>[保護者アンケート] 11, 12</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
13. 授業に、地域の教材・人材を年2回以上計画的に取り入れている。(予定である)	A 100%	13. 学校や家庭・地域で元気な挨拶や返事ができる。	A 91.3%	11. 本校の教職員は、保護者との連絡を密にしている。	B 84.7%
14. 地域・保護者へ、積極的に情報発信を行っている。	B 77.8%	14. 地域の行事等に参加している。	B 70.7%	12. 学校からの各種便りの発行や、ホームページの更新などは十分である。	B 88.1%
		15. 地域の人(施設)や自然から学べたことがある。	B 86.2%		

- ◎授業に地域の教材・人材を計画的に取り入れるよう実践している。
- ◎生徒は、地域の方と元気にあいさつができると回答している。
- ◎保護者は、学校からの諸連絡や、ホームページなどの更新は概ね十分であると回答している。
- ◇教職員は、保護者や地域へ情報発信をさらに進めていき、理解と協力を求めていくことが重要である。
- ◇各地区に、中学生が参加できる行事等にどのようなものがあるか、どのような参加の仕方があるのか生徒とともに把握し、かかわり方を明確にする。
- ◇生徒がより積極的に地域行事へ参加していけるよう、ふるさと学習を充実させていくことが望まれる。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------